

地理学 I、II の招待

2021 年度の地理学 I、II は対面授業予定です。やっと皆さんに会えますが 1 回目は教室ではありません。

現在のシラバスよりは大幅な変更になるような気がします。とくに対面授業の開始とはいえ、第 4 波が心配され、場合によったら変わる可能性もあります。このため、歩きながら方法論やシラバス内容も大きな変更となる可能性があります。地理学 I、II の毎回のテーマは、他の先生のもをみても同様に思えると思います。基本的には、自然地理学の地形学、気候学、人文地理学の諸地理学（例えば都市地理学）を網羅しています。したがって、この基本さえ理解し、なぜこのような学問の基礎が生まれたなどを理解すれば構いません。大昔、東大の有名な先生が天地人で地理学を説明したと聞いています。どの分野がそれぞれのポジショニングかわかりますか。

とはいえ、シラバスとおりでと高校の復習という感もあり、むしろ都市から国、世界へのストーリー展開から関連したテーマを扱ったほうがわかりやすいと思います。このため、授業時にはかなり映像主体になります。秋学期はより世界の状況を地誌学的に網羅するということになると思います。

ストーリーといってもわかりにくければ、こんな風に考えてみてください。ローマという大帝国が古代にできましたが、この帝国は道、交通を重視し貿易、軍事で覇権を得ます。同様にアジアでは秦、漢などで道が生まれ覇権をえます。この道に関してローマは合理的に道を建設しローマへの道を作り上げます。プラタモリでもありましたが自然を応用した建設です。ここから効率的、合理性という概念も感ることができますし、自然地理学地形学にも結び付きます。また、こうした概念は文化地理学にも結び付きます



さて、これを書いているときに、日本は第 4 波になるかもしれないときですが、外は人出あふれています。まだまだ長期戦を覚悟しなければなりません。したがって、閉じこもる可能性から 楽しみながらやるしかありません。

私の専門は地理学の中でも都市地理学、社会経済地理学、地域再生論、海外研究はアジア

が主ですからこの経験を活かして、人文地理学を中心にやっていきます。とはいえ、気候や地形も知らないわけではなく、昔、何もわからないときに有名な地質学者に台湾地震の海外調査まで連れていかれましたから大丈夫だとは思いますが。(笑)

さて、地理学の特徴としてフィールドワークがあります。例年、テーマを決めて外で観察学習から始めています。例えば、各自、東京駅周辺に行き、① 企業が集中しているのを実感してもらい、② 就活の学生を観察し ③ その周辺の外国人観光客と話してもらい、レポート後にそれぞれの理論、例えばなぜ東京駅周辺に企業が集中しているか

このフィールドワークを体験する重要性は、AI の時代でも変わらないと思います。ドローンやVRの世界は特定の表面上は見れますが、内容をどう考えるかなどでは自分の目というもの、特に人を見ることや観察するということはより重要になる気がします。

では外に行かないで基礎を養えるかですが、今年はネットで無料な動画や映画、さらにはドラマなどを探してもらい、いくつかの比較をすることで観察する、洞察するから始めたいと思います。秋に外で経験できると面白いですが、今年のIIはAKIBAでした。

- 中間レポート(留学生も)になるかも・・・時間もあるし

テーマ

- 日本の1980年代、90年代、2000年、2010年のドラマ、映画などで若い女性の化粧、眉毛見てもよう、変化? ネットで無料作品や動画、ドラマを時期ごとに
- 例) しこふんじゃった(1992) おくりびと(2008) 他いろいろあり
- 時代の相違をメモしながら違いや共通項を探してみよう



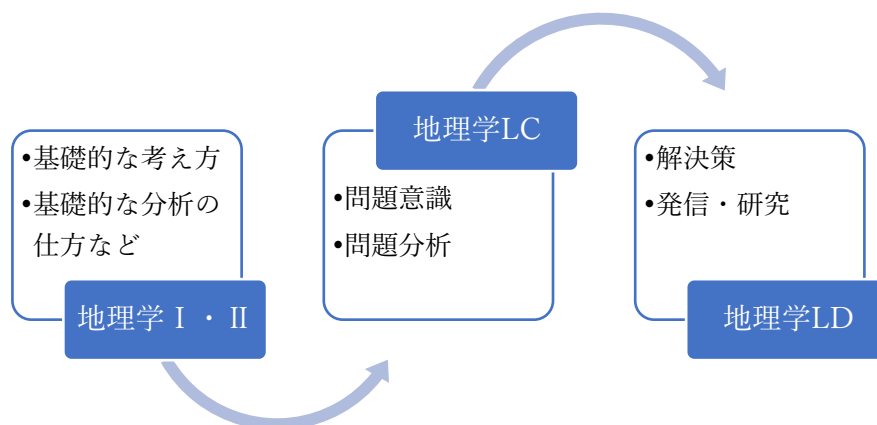
平成のいつの頃かわかりますか いわゆるフィールドワークの観察眼です

第2回目以降は、身近な服や映画から考えるのも手かもしれません。なぜマスクが手に入らないかからグローバリゼーションに広げたり、学生の就職とこうした危機との関連を日本と世界から考えていってもよいと思っています。まだまだ、このようにシラバスもひろげることができます。こう考えると、「え、これが地理(学)?」という人がいるかもしれませんが、中学・高校とは何が違うか、中学、高校で地理をやった人は当時なぜ、これを覚えるのか、なぜこれがテストの穴埋めで出るのがわからなかったと思います。今の日本では、なぜという理由や根拠を大人が説明しないことが多く、それでいて若者はコミュニケーション能力がなどと勝手に言います。とくにSNSがそれを加速させています。大半の教科書的地理も入試問題もやぶさかではないような気がします。

各回のテーマは、先に述べたように、自然地理学の分野も従来とは異なる形式で考えます。地形学はタモリさんの「ブラタモリ」がヒントを多くさせてくれますし、気候学も温暖化や海外と一緒に考えるとわかりやすいです。さて、今後の日本をどうしていくのかは皆さんも含めてだれでもが考えていかねばならないかかもしれません。10年近く前の東日本大震災の時は、知り合いもいたために1週間で現地に入り、食料配布から何から、いろいろなことも経験しましたし、その時に役に立たない大人や若い学生さんたちとも知り合い、自分の価値観も大きく変わった気がします。興味があれば、地理学IIやLC、LDも来てください。仮登録すると、支援システムでファイルを載せています。

第1回目 地理学I ZOOM 予定 2021 4. 7 15時過ぎ
インターネットで以下を
<https://hosei-ac-jp.zoom.us/j/8504426706?pwd=U20vQm9pVm9rZDE2NHdZRnJlL1RGdz09>

まあ、見れなかったり迷っている人は2回目に会えたら



横浜の田舎にて AKIHIKO MAEKAWA